

浜嶋です。

おはようございます。

昨日、ある方とお話しをしていて、その方が素晴らしい特技をお持ちであることが分かりました。そこで、「アダルトリソーシス」のことを思い出しました。最近、話題にしていませので、ご説明させていただきます。

ボーイスカウト活動では、スカウトに様々な体験をさせるという特徴があります。いろいろなところに出かけることや、そして「本物」の体験をさせることが重要です。このときに、「人」、「もの」、「金」、「情報」を活用します。

「人」は、仕事や趣味で保有している専門的な能力です。他の方の特技をここで紹介するのは差障りがありそうなので私の例を紹介します。

18歳から10年間、大学と社会人のギターマンドリンクラブで7年間コンサートマスターをしていました。

マンドリンが弾けて指揮ができます。大きな声で歌えます。スカウトに歌の指導をしました。

36歳で工学博士号を取得しました。論文が書けます。8編の懸賞論文で総額160万円は獲得しました。

18年間大学院で情報学の講義（1年間で90分の講義を5回）をしました。

この技能を活用して、カブ隊長の時に毎月、隊集会の感想文の添削をしてあげました。私が5年生の時に感想文の苦い失敗があったからです。

仕事で講義用システムを自分で開発し、使用しています。2団のHPもこのシステムを応用しています。

また、「まこと、ビーバースカウトになる」を書きました。HPに掲載しています。

ボーイスカウトでは、独学でロープワークと手旗ができるようになりました。若いリーダーは、私の手旗の手ほどきを受けているはずです。

建設の仕事柄、関西空港の土取り場を走る大型ダンプカーの見学や明石海峡大橋のアンカレイジ工事現場の見学をしてもらったこともあります。

スカウトだけでなく保護者にも感動してもらいました。

少し、自明のことですから指導者の紹介もしましょう。

内賀嶋隊長は、現役のフルートの奏者です。団行事等のセレモニーで歌の指揮をお願いしています。

吉田隊長は大学の落語研究会で活動し、落語が話せる特技があります。VSスカウトを落語会に案内しています。

白崎副長は、農業技能を持っており、市民農園で野菜の栽培を数年行っています。今年は、

BVS隊で「さつまいも」、BS隊で「すいか」の栽培の計画があります。

今では誰でもできるようになった漫才の元祖は、高橋副団委員長と間島隊長の漫才でしょう。2団の伝統になっています。

このように隊集会の活動に保護者や指導者の特技を生かして、スカウトの活動や教育に役立たせます。

「もの」では、加納育成会長にはキャンプで軽トラを使わせてもらっています。

下村団委員には、工務店を経営していることで、倉庫の整備、キャンプ時の薪の提供、先日使用した境界杭を作成してもらっています。

17年前のCS隊では、藤丸隊長が当時の副団委員長にお願いして、夏の舎営でドラム缶4つを使った筏を現地で作成してもらいました。

思い出に残るほど楽しませてもらったことが貴重です。

指導者や保護者から提供していただいているものはたくさんあります。

「金」は、寄付金です。

「情報」は、隊集会やキャンプの計画、プログラムに関する情報提供などです。

カブ隊のプログラム委員会から企画案を提供することも該当すると思います。

キャンプ中に襲われた台風の情報を保護者から送っていただいたこともあります。特別なことではなく、身近なことです。

スカウトが豊かなボーイスカウト活動を行うために、私たちは、自前の特技や知り合いの特技を提供することが重要なことであることを

ご理解いただきたいと思います。せっかく持っている素晴らしい能力を活動に生かしてほしいです。

いままで以上の大きな体験、びっくりすることや感動することを提供しましょう。「本物」に接する体験をたくさん提供しましょう。

私たち指導者に、ぜひ多くの情報を提供していただいて、労力の提供も含めて、楽しい活動を支援していただきたいと願っています。

「アダルトリソース」は、ボーイスカウト活動を支えます。

どんなことでもいいですから、仕事や趣味の特技、特殊な能力や知識を公開してください。私に連絡をお願いします。

私の目標と実践

～保護者の理解が深まれば、2団が変わります。全員でスカウトを育てよう～